

京の作  
 貞画  
 繪  
 如行  
 見  
 天保  
 三  
 上  
 物



松地  
 五  
 松

~ 13  
 3714  
 3







五元  
三編下  
京少き  
毒梓  
壺

此稗史の本年繪圖名所杖と題して世に播く者  
杖の圖會ふ響く鳴のやうにして書賈が愛ふ者  
家集の杖の携りて繪圖見西行と書号を改めし見ぬ花  
の榎木より二編三編の杖を咲せり外題の初編の杖も條  
理の續き燕都繪圖の系を搜口碑の残る名所古跡の  
名所耳と構思も粗々たる咄嗟の作姑書賈の促ふ  
錦室の永晝且緋緋さ蓬窗の夜雨小窓其兒苗日の懸麻鬼  
を驅んかるともやんか鳴く題を

天保 十丈夏脱稿  
初冬幾販

山東茶弁京山



百一十一号

福富長者の子  
 主之助  
 傾城の雀の  
 数樓不於て  
 雪日遊楽之図  
 事ハ四編ニ記ス



西行三三三

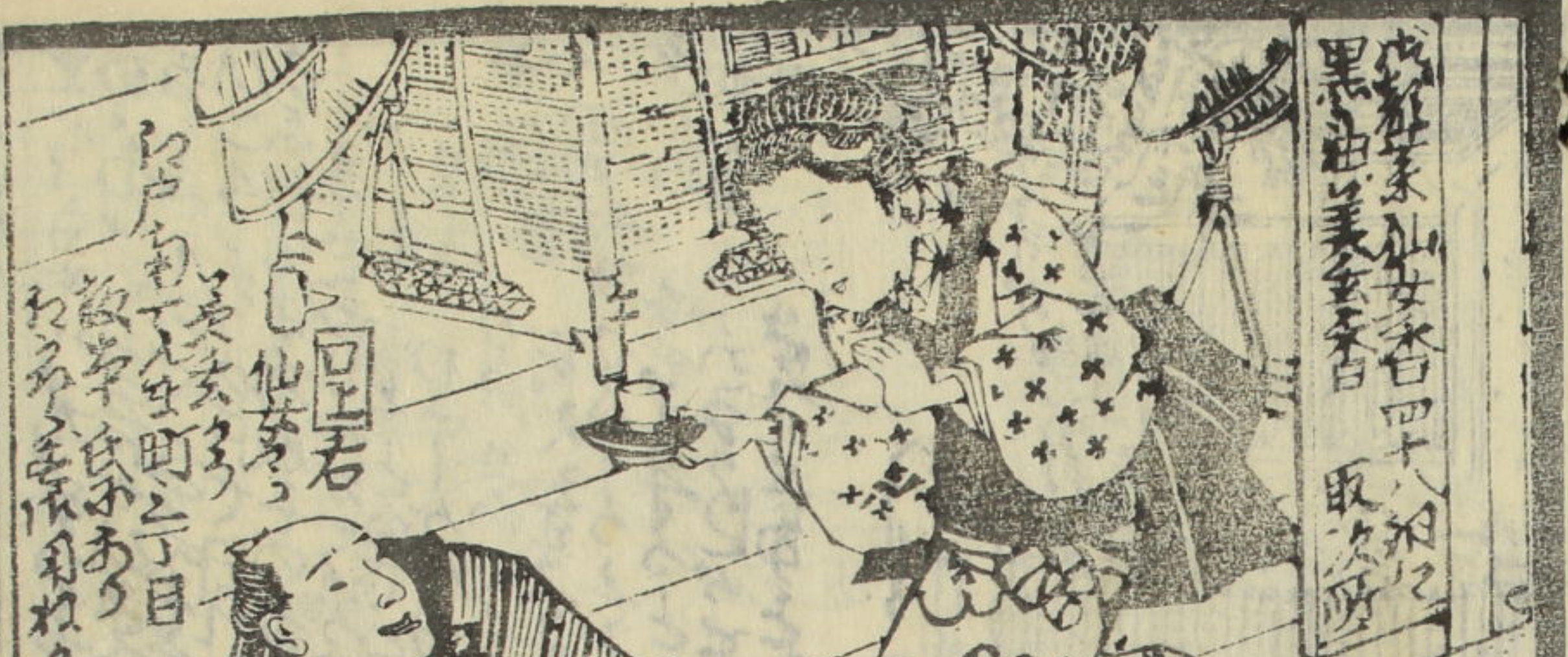
絵圖見西行三編上冊

はるゆきと云ふ能川を渡るあふ  
 かりにちがらるるさかたをきり  
 たらやどののふりどくでて人  
 からうり百の日はあひの  
 かつらもまたのちあひ  
 ましけれはばやとや  
 する年があらはれかた  
 ありとつかへしあひ  
 つまをさうしあひ  
 つかたのもがらり  
 ひいしんあひ



さうとんのゆき  
 かりにちがらるるさかたをきり  
 たらやどののふりどくでて人  
 からうり百の日はあひの  
 かつらもまたのちあひ  
 ましけれはばやとや  
 する年があらはれかた  
 ありとつかへしあひ  
 つまをさうしあひ  
 つかたのもがらり  
 ひいしんあひ

① 日よとの小そよあひのあふた女の  
 ちかたのちかたのちかたのちかたの  
 女界のちかたのちかたのちかたの



西行三編上冊  
 黒油美香香 取次



このゆきと云ふ能川を渡るあふ  
 かりにちがらるるさかたをきり  
 たらやどののふりどくでて人  
 からうり百の日はあひの  
 かつらもまたのちあひ  
 ましけれはばやとや  
 する年があらはれかた  
 ありとつかへしあひ  
 つまをさうしあひ  
 つかたのもがらり  
 ひいしんあひ

回し右  
 仙女多  
 美香多  
 目  
 あり  
 あり

④ たそがれ  
 のゆきと云ふ能川を渡るあふ  
 かりにちがらるるさかたをきり  
 たらやどののふりどくでて人  
 からうり百の日はあひの  
 かつらもまたのちあひ  
 ましけれはばやとや  
 する年があらはれかた  
 ありとつかへしあひ  
 つまをさうしあひ  
 つかたのもがらり  
 ひいしんあひ

西行三編上冊





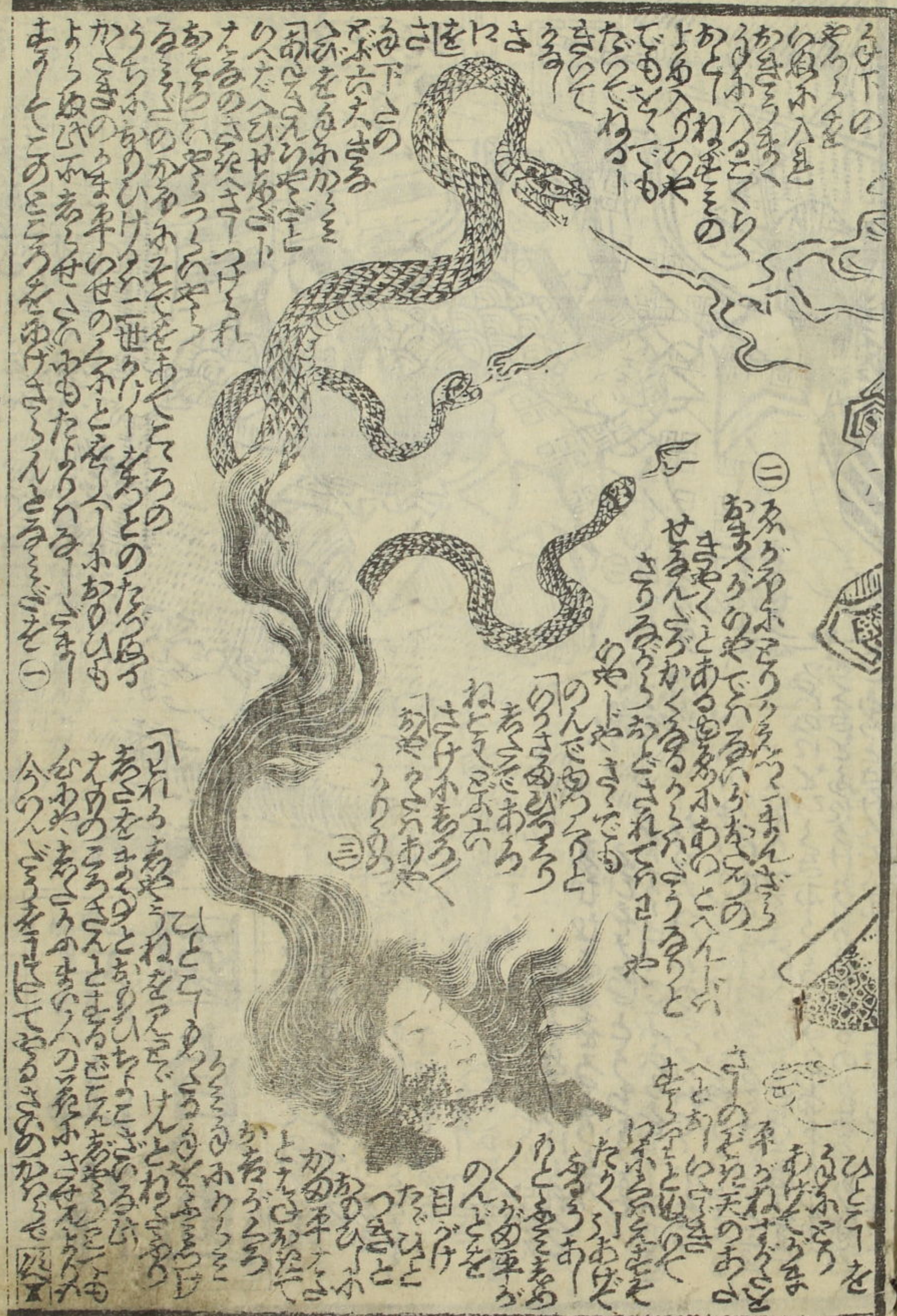














三編 下之巻

△見西行  
△下之巻



ろく

あつたやうな人に見え  
かたがはまよふ目  
さうとさうとさうとさ  
あつたやうな人に見え  
かたがはまよふ目  
さうとさうとさうとさ  
あつたやうな人に見え  
かたがはまよふ目  
さうとさうとさうとさ

①ゆひげん  
おかしやうな人に見え  
かたがはまよふ目  
さうとさうとさうとさ  
あつたやうな人に見え  
かたがはまよふ目  
さうとさうとさうとさ  
あつたやうな人に見え  
かたがはまよふ目  
さうとさうとさうとさ



あつとては  
ひさびさの  
あそびと  
あつとては  
ひさびさの  
あそびと  
あつとては  
ひさびさの  
あそびと



なんぢのよき  
村にまゐる  
あつとては  
ひさびさの  
あそびと  
あつとては  
ひさびさの  
あそびと  
あつとては  
ひさびさの  
あそびと

あつとては  
ひさびさの  
あそびと  
あつとては  
ひさびさの  
あそびと

西行三編

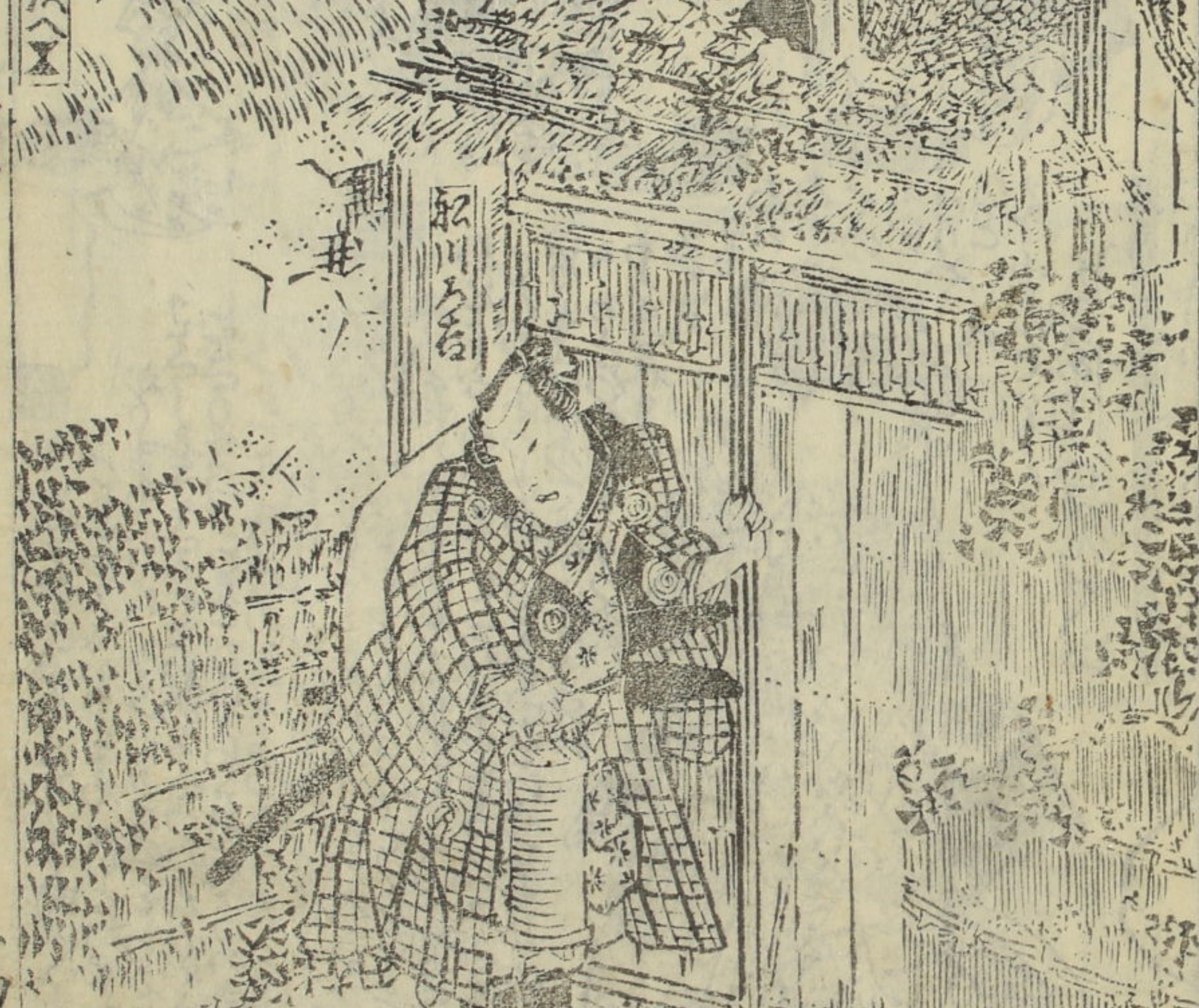
あつとては  
ひさびさの  
あそびと

あつとては  
ひさびさの  
あそびと





④ 女 月  
 内 村  
 け 小 上  
 び 小 上  
 ち 小 上  
 と 小 上  
 お 小 上  
 あ 小 上  
 か 小 上



① 井 目  
 ② 井 目  
 ③ 井 目  
 ④ 井 目  
 ⑤ 井 目  
 ⑥ 井 目  
 ⑦ 井 目  
 ⑧ 井 目  
 ⑨ 井 目  
 ⑩ 井 目



① 井 目  
 ② 井 目  
 ③ 井 目  
 ④ 井 目  
 ⑤ 井 目  
 ⑥ 井 目  
 ⑦ 井 目  
 ⑧ 井 目  
 ⑨ 井 目  
 ⑩ 井 目

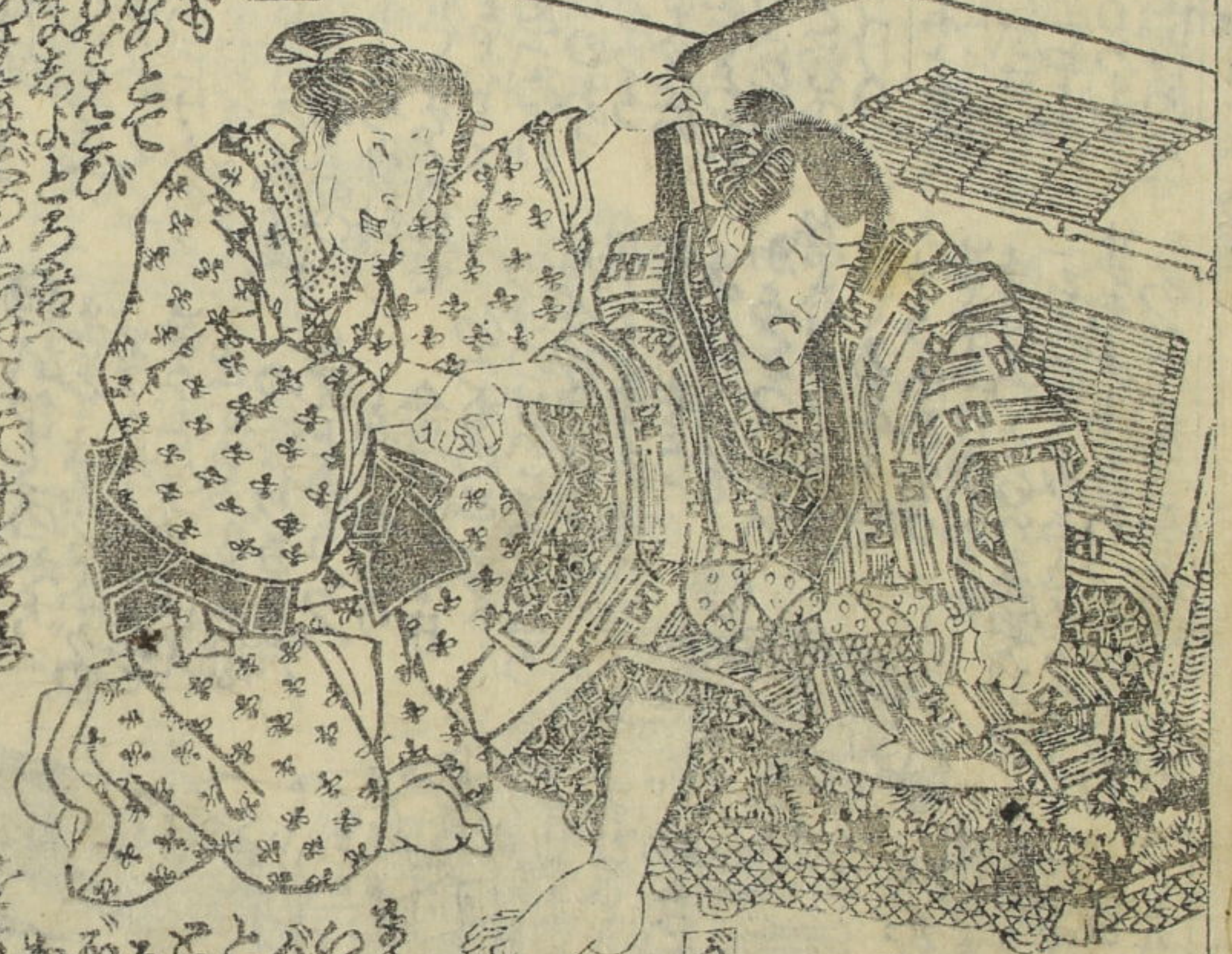
五 行 三 行

十 三





一、ついでにまた  
 二、ついでにまた  
 三、ついでにまた  
 四、ついでにまた  
 五、ついでにまた  
 六、ついでにまた  
 七、ついでにまた  
 八、ついでにまた  
 九、ついでにまた  
 十、ついでにまた



二、ついでにまた  
 三、ついでにまた  
 四、ついでにまた  
 五、ついでにまた  
 六、ついでにまた  
 七、ついでにまた  
 八、ついでにまた  
 九、ついでにまた  
 十、ついでにまた

一、ついでにまた  
 二、ついでにまた  
 三、ついでにまた  
 四、ついでにまた  
 五、ついでにまた  
 六、ついでにまた  
 七、ついでにまた  
 八、ついでにまた  
 九、ついでにまた  
 十、ついでにまた



一、ついでにまた  
 二、ついでにまた  
 三、ついでにまた  
 四、ついでにまた  
 五、ついでにまた  
 六、ついでにまた  
 七、ついでにまた  
 八、ついでにまた  
 九、ついでにまた  
 十、ついでにまた

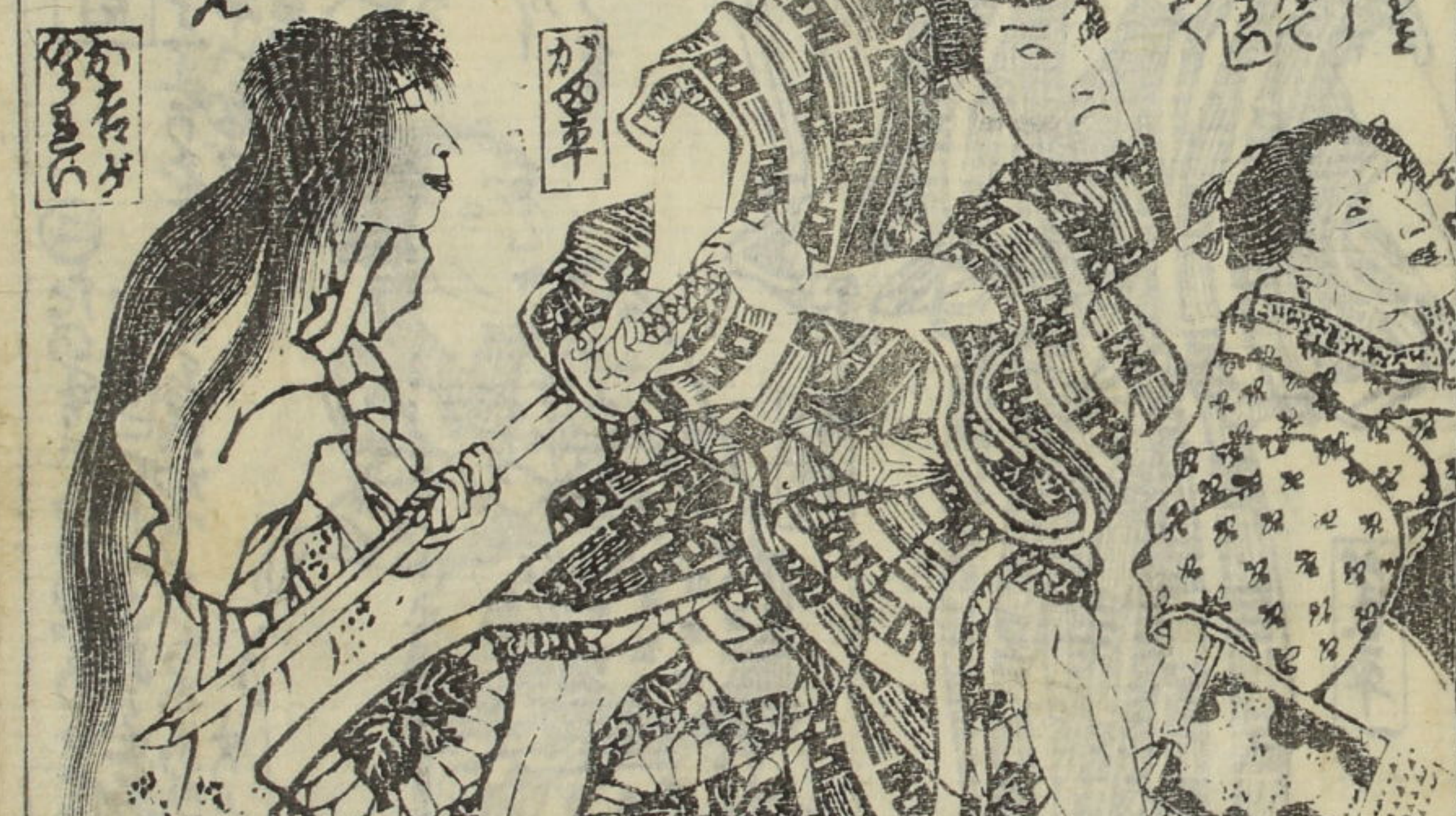


あまのついでに... 西行三編の巻頭... 西行三編の巻頭... 西行三編の巻頭...



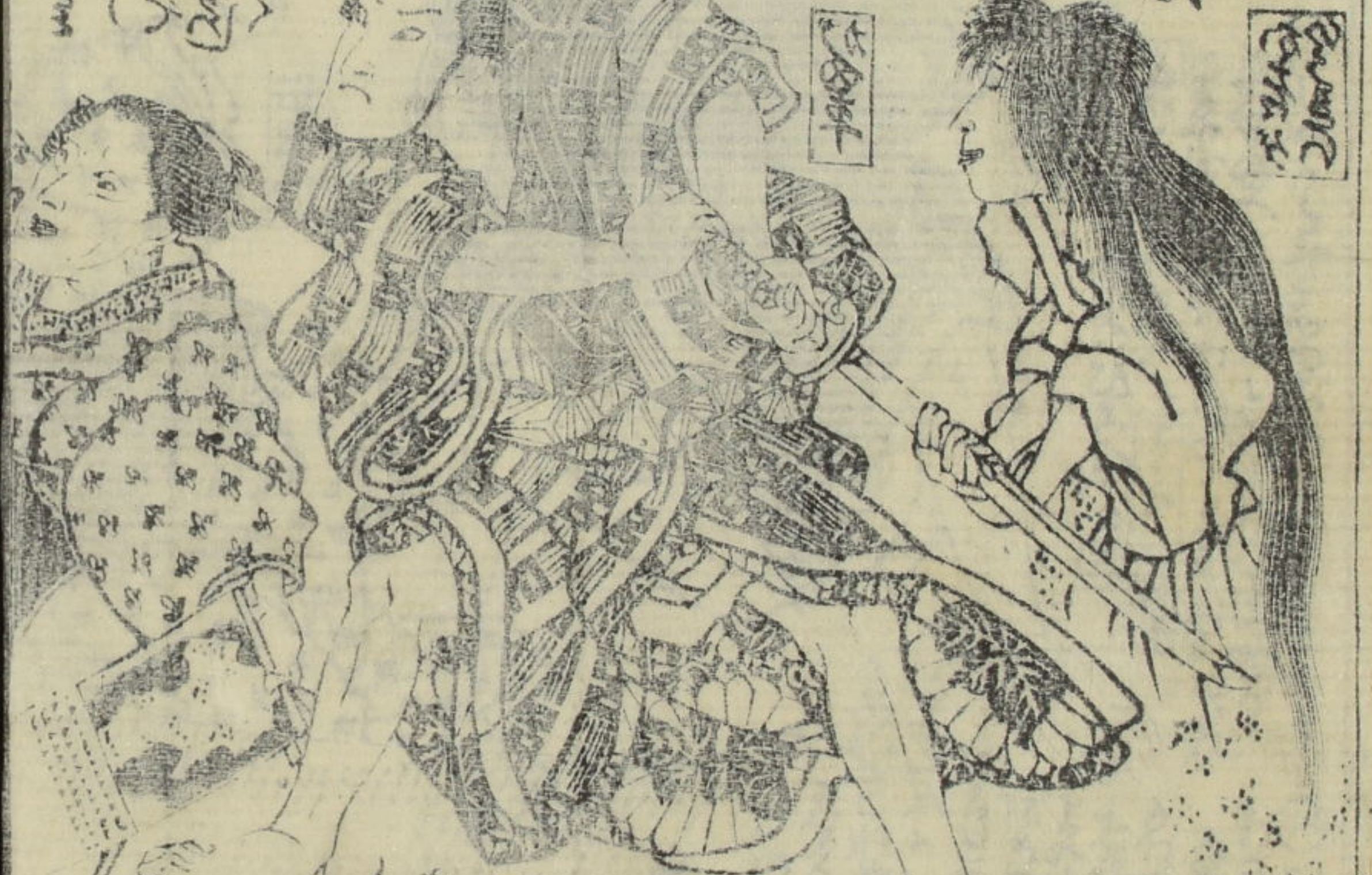
あまのついでに... 西行三編の巻頭... 西行三編の巻頭... 西行三編の巻頭...

あまのついでに... 西行三編の巻頭... 西行三編の巻頭... 西行三編の巻頭...



あまのついでに... 西行三編の巻頭... 西行三編の巻頭... 西行三編の巻頭...

Handwritten text in a cursive script, likely a historical or religious account, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the right page, below the illustration.

Handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page, below the illustration.





百行云々

三せんの中つて... 萬葉集... 古今和歌集... 万葉集... 古今和歌集... 万葉集... 古今和歌集...



京山作  
國貞画

二つやえん... 万葉集... 古今和歌集... 万葉集... 古今和歌集... 万葉集... 古今和歌集...

領域三國志 四編 集 領域三國志 五編 集

外題 繪圖 所杖 改

山東 慶京 山作

空俗使 素群談 全十冊

梅松論 竹取物語 全四冊

黒油 墨香

西國 月夜 夜櫻 篇 全六冊

東國 月夜 夜櫻 篇 全六冊

今昔 倭談 苑 全四冊

繪草紙 問屋

井喜鶴 坐立野屋喜共橋板

